

近未来のレジャー用品”電動一輪車”を新発売 株式会社オオトモ

明治時代から始まった日本の自転車産業において、常にイノベーションを起こし続ける株式会社オオトモ。自転車メーカーでありながら卸売機能をもつメーカーベンダーだ。自転車事業を中心として、健康器具やアウトドアレジャー用品・調理器具・防災用品など、安心・安全・高品質をキーワードに「今までにない新しさ」や「トレンドにあったデザイン」にこだわった商品を手がけている。

いち早くネット通販に取組む中国との太いパイプで企画生産も



創業のきっかけは代表取締役社長の程鵬氏が「日本でビジネスをしたい」と考えて中国から来日したことだった。旅

先で偶然知り合い、意気投合した現取締役会長の川上正芳氏と現監査役の高澤宏雄氏と2000年に同社を設立。雑貨や冷凍ケーキなどを扱う輸入商社を始めた。中国から輸入した折りたたみ自転車を2001年頃から発売開始。当時の相場の1/2程度の価格で卸売できた。しかし、歴史ある業界だけに新規参入の同社にとって販路開拓は難しかった。そこでネットの世界へ先陣を切って参入。創生期のインターネット通販ができる総合ショッピングモール「楽天市場」に出店している店舗を開拓したところ、右肩上がりで取引先が増えていった。

2004年にはブランドライセンスの折りたたみ自転車の企画や販売を開始。中国との太いパイプによって高性能自転車の生産からベーシックな折りたたみ自転車などOEM生産も行う。中国の製造現場との交渉は日本語が堪能な中国人社員が行っている。新規事業部係長の沈連俊氏は「クラフトマンシップの高い日本人と比べると、中国人のクオリティへの意識の違いはどうしてもあるので現地でも品質チェックは欠かせない。日本では品質のよいモノで、人とは少し違うモノを求められる。しかし、世界中から生産を受けている中国企業にとって、他国は少品種・大量生産の発注が多い中で、多種類・小ロットの生産が要求される日本のマーケットを理解してもらうことが難しい。パワーバランスを考えながら交渉している。」と中国企業と良好な協力関係を築きながら高品質の商品作りを行っている。



ファッショナブルな電動一輪車「ninebot one」新登場

2015年2月、同社はグローバルに展開する中国のninebot社の日本総代理店として、SF映画に登場しそうな電動一輪車「ninebot one (ナインボット・ワン)」の販売を開始した。

「ninebot one」は操縦者の重心移動だけで動きを制御するスマート電動一輪車。サドルのない一輪車にカバーを付けて、電動にしたような乗り物だ。通常の一輪車と違ってペダルの代わりに付いている飛び出し型の足乗せ台に足を乗せれば重心の移動を感知し、本体とスピードをコントロールして走り出す。最新の制御機能を搭載しているので初心者でも取り扱いやすい。わずか約150分でフル充電でき、走行可能距離は約10～15km。しかも、最高速度は15km/hあり、疾走感を楽しめる次世代レジャー用品だ。

また、「ninebot one」はハイテクとファッションを融合。オリジナルフレームによるスマートな外観とエレガントさがある。シルバーの質感が近未来を感じさせるデザインだ。本体側面にリング状のムードライトがあり、光の流れや点滅など発光の仕方も自由に設定できる。

マルチカラーのオプションカバーでユーザー好みにカスタマイズできるので、ファッションアイテムとしても注目度が高い。

スマートフォンと連動させれば、走行距離や速度・時間などを確認できるだけでなく、遠隔でロックすることもできる。沈係長は「スマートフォンのアプリで登録オーナー同士が走行距離のランキングを出せる。例えば、イタリア人のAさんは4000km走覇、中国人のBさんは3000km走覇とか、世界中のオーナーとつながって楽しんでほしい。」と教えてくれた。

TVにも紹介された話題の電動一輪車の取扱店を募集

2015年2月の東京ビッグサイトで行われた東京国際ショナル・ギフト・ショーに出展したところ、「めざましテレビ」「サンデー・ジャポン」「ZIP!」「おはよう朝日です」等テレビの情報番組で紹介された。20～60代の新しいモノが好きな人からの問い合わせや購入が増えている。



3月の埼玉サイクルエキスポでは、約300名が試乗に集まった。インストラクターも務める商品部企画開発セクションの太田常平氏は「お客様の注目度の高さに驚いた。『ninebot one』は年齢を問わずケボー感覚で楽しめるが、機械性のため対象年齢は16才以上。公道は走れないなどの注意点を伝えている。許可のある公園等で楽しんでもらえるように、当社は全国の公園に使用許可を働きかけている。」と商品だけでなく、楽しめる場所の普及にも力を入れている。現在、この話題の「ninebot one」取扱店を募集している。

近未来のレジャー用品の電動一輪車「ninebot one」。アルミ合金+マグネシウム合金+LEXAN樹脂を使用。重量約12.8kg。上部にあるハンドルで持ち運び便利。IP65級と完全防水構造で洗車もOK

フロンティアスピリットで今までにない新商品や開発を

同社は自転車を生産できるメーカーならではのオリジナリティあふれる商品を取り寄せできるカタログギフト事業へも進出。また、品質の良いものだけを世界から取り寄せるインポート事業も展開。ほかにも「Amazon Japan」とベンダーフレックス提携も行っている。

自転車事業ではフレームに溶接をしない画期的な組立式の自転車「MINDBIKE」が2013年度の大阪府経営革新計画の承認を受けた。世界の自転車の生産拠点である中国・上海の自転車ショーで金賞受賞。さらに2015年3月に行われた台北自転車ショーにおいて、世界のデザイン界で権威のある「iF デザインアワード 2015」のゴールドアワードを受賞。実用性・クリエイティブ・利便性・エコが認定された。「MINDBIKE」は4月に発売を開始する。

管理部部長の林正佳氏は「当社は創生期のネット販売参入に成功した経験から、常に新しい商品や事業に挑戦する社風がある。失敗することもあるが、チャレンジしなければ成功もない。自転車だけに留まらず、世界中にあるさまざまなジャンルの『今までにない新しいモノ』を敏感に探してきたからこそ、「ninebot one」などを展開できた。今後はもっと自転車事業の屋台骨を太くし、枝葉も広げていきたい。」と熱く語ってくれた。



新型の立ち乗りロボットで次世代のバランシング二輪車「ninebot E」

ギフト事業部で扱うブランドの折りたたみ自転車やアウトドア用品・体脂肪計・ヘルシーフライヤーなど。多彩な商品をラインナップ

株式会社オオトモ

代表取締役社長 程鵬

〒559-0025

大阪府大阪市住之江区平林南1丁目5-15

TEL : 06(6654)3391

FAX : 06(6654)3309

【事業概要】

- ・高性能自転車の生産からベーシックな折畳み自転車など自転車卸売販売、自転車のOEM生産
- ・自転車・防災用品・フィットネス器具・アウトドアレジャーなど幅広いジャンルのギフト用品の卸売・販売
- ・トレーニング機器やフィットネス関連、調理器具・家電雑貨・電動一輪車などオリジナリティあふれる商品の卸売・販売

